

病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ブドウべと病

平成28年6月22日

鳥取県病害虫防除所

情報の内容

6月下旬現在、県東～中部のブドウにおいてべと病の発生がやや多くなっている。今後、梅雨期間中の連続降雨による発病の増加が予想されるため、防除を徹底する必要がある。

病害虫名：ブドウべと病

1 対象作物 ブドウ

2 発生地域 県東～中部

3 発生量 やや多い

4 情報の根拠

(1) 現地ほ場におけるブドウべと病の発生量は、梅雨入り後に好適な気象条件が続いたため、露地やハウスの谷部を中心にやや多くなっている。

(2) 気象予報（6月16日付け1か月予報）によると、向こう1か月は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されており、今後も感染拡大が予想される。

5 防除上注意すべき事項

(1) 発病した葉や果実は伝染源となるため、できるだけ取り除き、園外に持ち出し処分する。

(2) 誘引や摘心等により、風通しのよい樹形にする。

(3) 薬剤の散布は、園の周辺部や枝葉が混み合ったところなどにかけるむらがないように丁寧に散布する。特にハウス栽培では、谷間やビニールのつなぎ目の、雨水の流れ込む部位に発病が多いことから防除の際はこの部分の防除を徹底する。

(4) 防除薬剤は表1を参考にする。また、薬剤の選択にあたっては、FRACコードを参考に、同一コードの薬剤は連用を避ける。

(5) 表1の薬剤はすべて予防効果及び治療効果を有するが、病害が多発生となつてからの散布では十分な効果が得られないため、予防散布を徹底する。

(6) 薬剤を散布にあたっては、果実の果粉溶脱及び農薬の使用基準に注意して使用する。

表1 ブドウべと病の主要な薬剤

FRACコード	分類	商品名	希釈倍数	使用時期	使用回数
11	QoI (Qo阻害剤)	アミスター10フロアブル	1000倍	30日前	3回以内
11		ストロビードライフフロアブル	2,000～3,000倍	14日前	3回以内
11, 27		ホライズンドライフフロアブル	2,500～5,000倍	21日前	3回以内
40	CAA (カルボン酸アミド)	フェスティバル水和剤	2,000倍	30日前 (大粒種) 45日前 (小粒種)	2回以内
27, 40		ベトファイター顆粒水和剤	2,000～3,000倍	30日前	3回以内
40		レーバスフロアブル	2,000～3,000倍	7日前	3回以内
21	QiI※ ² (Qi阻害剤)	オラクル顆粒水和剤	5,000～10,000倍	14日前	3回以内
21		ライメイフロアブル	3,000～4,000倍	14日前	3回以内
21		ランマンフロアブル	1,000～2,000倍	14日前	3回以内

表中の太字はブドウ県暦に記載されている薬剤。

FRACコードは殺菌剤耐性菌対策委員会による分類、同一コードの薬剤は連用しない。